

第10回国立市健康危機管理対策本部会議記録

| | |
|------|---|
| 日時 | 令和2年12月23日（水）午前10時00分から午前10時30分まで |
| 場所 | 市議会委員会室 |
| 出席者 | 竹内副市長、是松教育長、藤崎行政管理部長、松葉子ども家庭部長、大川健康福祉部長、黒澤生活環境部長、門倉都市整備部長、江村都市整備部参事、矢吹会計管理者、橋本教育次長、雨宮生涯学習・文化・スポーツ推進担当部長、内藤議事務局長 佐伯オンブズマン事務局長、玉江選挙管理委員会事務局長、田代監査委員事務局長、 立川消防署：玄海予防課長、深沢国立出張所長 |
| 付議事項 | <p>（1）都内・市内の感染状況について</p> <p>①東京都の感染拡大状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染状況・医療提供体制の分析（資料No.1） ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策のお願いについて（資料No.2） ・新型コロナウイルス感染症都民向け感染予防ハンドブック（資料No.3） <p>②国立市の感染状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都から提供される患者情報(国立市)（資料No.4） ・国立市医師会長コメント（資料No.5） <p>（2）年末年始体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立市報12月20日号（資料No.6） <p>（3）新型コロナウイルスワクチンの接種スケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス接種体制整備について（項目整理）（案）（資料No.7） ・体制確保に係る市町村準備スケジュール（イメージ）（資料No.8） <p>（4）その他</p> <p>（5）指示及び対応方針について</p> |
| 主な内容 | <p>（進行：大川健康福祉部長）</p> <p>1 議 題</p> <p>（1）都内・市内の感染状況について（事務局：橋本健康づくり担当課長）</p> <p>① 東京都の感染拡大状況について</p> <p>資料No.1～3のとおり。</p> <p>②国立市の感染状況について</p> <p>ア 東京都から提供される患者情報（国立市）</p> <p>資料No.4のとおり。</p> <p>イ 国立市医師会長 春日井先生のコメント（事務局：加藤健康増進課長補佐）</p> <p>資料No.5のとおり。</p> <p>（2）年末年始体制について</p> <p>①年末・年始の対応について（伊形福祉総務課長）</p> <p>相談・支援の体制について確認。</p> <p>②年末年始の医療体制について（事務局：橋本健康づくり担当課長）</p> <p>国立市における、年末年始の医療体制について確認。</p> <p>（3）新型コロナウイルスワクチンの接種スケジュールについて（事務局：橋本健康づくり担当課長）</p> <p>資料No.7及びNo.8により、予防接種体制の整備について説明。迅速に取り組む必要があるため、全庁的に対応していくということで方向性を確認。</p> |

(4) その他

ア 立川消防署からの情報提供 (立川消防署玄海予防課長)

国立市役所での普通救命講習でも紹介したが、コロナ渦における救急蘇生法の指導要領について変更点がある。

心肺蘇生法を実施する人は、マスクを着用し、窓を開放する等の換気を行う。胸骨圧迫をする場合は、傷病者の口元にハンカチやタオル等をかぶせる。使用したハンカチやタオル等は直接手で触れないよう注意してビニル袋に入れ、密封すること。応急手当に協力した方が感染しないよう、注意していただきたい

【まとめ】 (大川健康福祉部長)

当市の状況としては、他の地域と同様に感染が増加している。引き続き、職場や家庭内における感染を可能な限り防止していく。手洗い、マスク、身体的距離が感染防止の基本である。ワクチンの接種については、接種体制やスケジュール等、行政として全庁的に取り組んでいかねばならない課題が国から示されたところ。一方、ワクチンが万能というわけではないため、基本的な感染予防策について、市民の皆様に広報を続けていくことが重要。また、年末年始の相談対応については、担当職員で力を合わせて、市民の方のご不安を受止めて、しっかり対応してまいりたい。例年にも増して気を引き締めつつ、年明けからも一丸となって取り組んでいく必要があることから、本部員の皆様には重ねてご協力をお願いしたい。

(5) 指示及び対応方針について (竹内副市長)

本部長が不在の中での開催ではあるが、議題等については事前に確認いただき承知されているところ。ワクチンの接種については、早急に体制を確立するよう指示を受けているため、精力的に取り組み、年内には形を作っていくようにしたい。昨今の感染拡大については予断を許さない状況であるが、このような時こそ我々組織の力を最大限に発揮していくことが必要。この危機を乗り越えるために、力を合わせて取り組んでいくようお願いしたい。

以上